

4月25日正午必着

明石春浦先生書



鶯花世界如春夢、烟雨樓臺似畫圖 (張翥)

鶯なき花咲き今やこの世は春夢の如くのどかである。  
又、烟雨にけむる楼台は絵のようである。

明石幸子書



仙臺初見五城樓  
疎松影落空壇淨

風物凄凄宿雨收  
細草春香小洞幽

山色遙連秦樹晚  
何用別尋方外去

砧聲近報漢宮秋  
人間亦自有丹丘

(韓翃)



萬仞玉芙蓉 垂光抱雲樹  
仙窟似可尋 臥遊有深趣

(輪王寺公辨法親王)

高い高い富士の山、陽のひかりは雲をつく樹々に降りそそぐ。こうして富士の絵と相對していると、仙人の住む窟を訪ねて行くような心地になり、居ながらにして味わう旅の気分もなかなか風情のあるものだと感じている。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

風淡菱荷香 (陳 孚)

風淡く菱荷香し

菱は菱(ひし) 荷は蓮(はす)

碧山過雨晴逾好 (袁士元)  
綠樹無風晚自涼

碧山雨過ぎて晴逾好く、  
綠樹風無く晩に自ずから涼し。

青山にひと雨すぎて雨後の景色はひとしお好く、  
綠樹に風はそよがなくとも夕暮は自然に涼しい。

贈山中日南僧 (張 籍)

山中の日南の僧に贈る

張 籍

獨向雙峯老 松門閉兩涯

ひとり双峰に向かつて老ゆ 松門 両涯を閉ず

翻經上蕉葉 掛納落藤花

經を翻して蕉葉に上せ 納を掛けて藤花を落す

盤石新開井 穿林日種茶

石を甃みて新たに井を開き 林を穿ちて日に茶を種う

時逢海南客 蠻語問誰家

時に海南の客に逢い 蛮語して 誰が家かを問う

雲行きを見上ぐる森の木ぬれには花つけし枝のざわめきてをり

(木下 利玄)

半紙部規定課題A

4月25日正午必着



※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

4月25日正午必着

行書

春草年年  
年流

隸書

春草年年  
年流

明石春浦先生書

草書

春草年年  
年流

行草書

春草年年  
年流

いにしえの偉人が一飯の恩義に感じ入ったという そのことはもはや千年のむかし  
年古りた墓は、樵人たちが知っているだけ かの時のままにここ楚の地の水は流れる  
行きずりの旅人が水際の蘋草を摘んで供え 杜鵑は山中の樹木に悲しく啼く  
春の草は年ごとに緑に茂る かの貴公子がかつて遊んだこの地に

漂母墓

劉長卿

昔賢懷一飯

茲事已千秋

古墓樵人識

前朝楚水流

渚蘋行客薦

山木杜鵑愁

春草年年綠

王孫舊此游

漂母の墓

劉長卿

昔賢一飯を懐く

茲の事 已に千秋

古墓 樵人識り

前朝 楚水流る

渚蘋 行客薦め

山木 杜鵑愁う

春草 年年緑なり

王孫 旧此に遊ぶ

(出典)  
朝日新聞社刊  
「三体詩」下より



条幅部半紙部臨書課題

吳江垂虹亭作



斷雲一片洞庭帆 玉破鱸

魚霜破柑好作新詩繼業

苧垂虹秋色滿東南

泛五湖霜氣清漫不

辨水天形何須織女支

撐石且戲常娥稱客星

時為湖州之行



吳江垂虹亭作／斷雲一片洞庭帆 玉破鱸／魚金破柑 好作新詩繼業／苧 垂虹秋色滿東南／泛泛五湖霜氣清 漫漫不／辨水天形 何須織女支／機石 且戲常娥稱客星／時為湖州之行

吳江垂虹亭の作 斷雲一片洞庭の帆 鱸魚を玉破し、柑を金破す 好し、新詩を作り業を継ぐ 垂虹の秋色、東南に満つ 泛泛たる五湖、霜氣清し 漫漫として水天の形を弁ぜず 何ぞ須いん織女支機石 且く常娥に戯れて客星と称す 時に湖州の行を為す



断雲一片洞庭の帆 鱸魚を玉破し、柑を金破す



断雲一片洞(庭の帆)

北宋 米芾・蜀素帖

彼は湖北省の人で、字を元章という。若いときから書が巧みで、顔真卿・欧阳詢・柳公権らを習い、更に褚遂良を学び、後には王羲之・王献之らの晋人の書を深く研究した。地方の割合低い官吏を転々としたが、書画がうまかった上に鑑識にすぐれていたために、中央の官吏として抜擢され、徽宗皇帝の書画研究及びコレクシヨンの顧問となり、その面で非常に重く用いられた。

彼の残した書画についての研究記録・著書は今日でも王羲之や唐人の真跡を研究する上で最も重要な参考資料になっている。

彼は蘇軾・黄庭堅とともに宋の三大家の一人であるが、実力の点で最もすぐれているといっている。他の二人は個性的な点で優っているが、彼の場合、古法探求を土台としており、品位と規模において初唐の大家に匹敵しているといえる。

この蜀素帖は、三十八歳の時のものであり、行書で書かれている。蜀素(蜀で織られた絹)に書いてあるのでこの名がある。自作の詩を書いたもので、絹の織目がかすれを出し、また墨の潤濁が効果的で各行とも気力の充実がうかがえ、淳古な書風である。

(春廣)

4月25日正午必着

教育部毛筆



きん  
金

かく  
閣

中学一年

雨宮春聲先生書



ち  
知

しき  
識

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



こう  
好

てん  
転

小学五年

榎戸春龍先生書



こう  
功

とく  
徳

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



4月25日正午必着



みぎ  
右

て  
手

小学三年

藤田幸春先生書



う  
羽

もう  
毛

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

い か 小学一年・幼年



森戸春濤書

ガ ス 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

を  
美  
を  
み  
つ  
ば  
ち  
が  
飛  
ぶ  
上

小学五年

は  
春  
の  
清  
ら  
か  
な  
水  
の  
流  
れ  
は  
遠  
い  
山  
か  
ら  
や  
っ  
て  
く  
る

小学六年

と  
湯  
け  
ぶ  
り  
も  
月  
夜  
の  
春  
と  
な  
り  
に  
け  
り  
一  
糸

中 学

糸  
の  
花  
に  
う  
め  
の  
古  
木  
を  
愛  
す  
か  
な  
子  
規

一般(級位)

春  
の  
夜  
の  
夢  
は  
か  
り  
な  
る  
手  
枕  
に  
か  
ひ  
な  
く  
立  
た  
む  
名  
こ  
そ  
惜  
し  
けれ  
ひ  
な  
く  
ま  
た  
お  
も  
い  
き  
惜  
し  
けれ  
美  
の  
夜  
の  
夢  
は  
か  
り  
な  
る  
手  
枕  
に  
か  
ひ  
な  
く  
立  
た  
む  
名  
こ  
そ  
惜  
し  
けれ

一般(段位)

春の夜の夢はかりなる手枕にかひなく立たむ名こそ惜しけれ(周防内侍)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

な	う
い	ぐ
て	い
い	す
ま	が
す	

幼年

を	小
	川
つ	で
か	
ま	め
え	だ
た	か

小学一年

で	さ
	く
あ	ら
そ	の
び	木
ま	の
す	下

小学二年

鳥	こ
が	ず
な	え
い	の
て	上
い	で
る	小

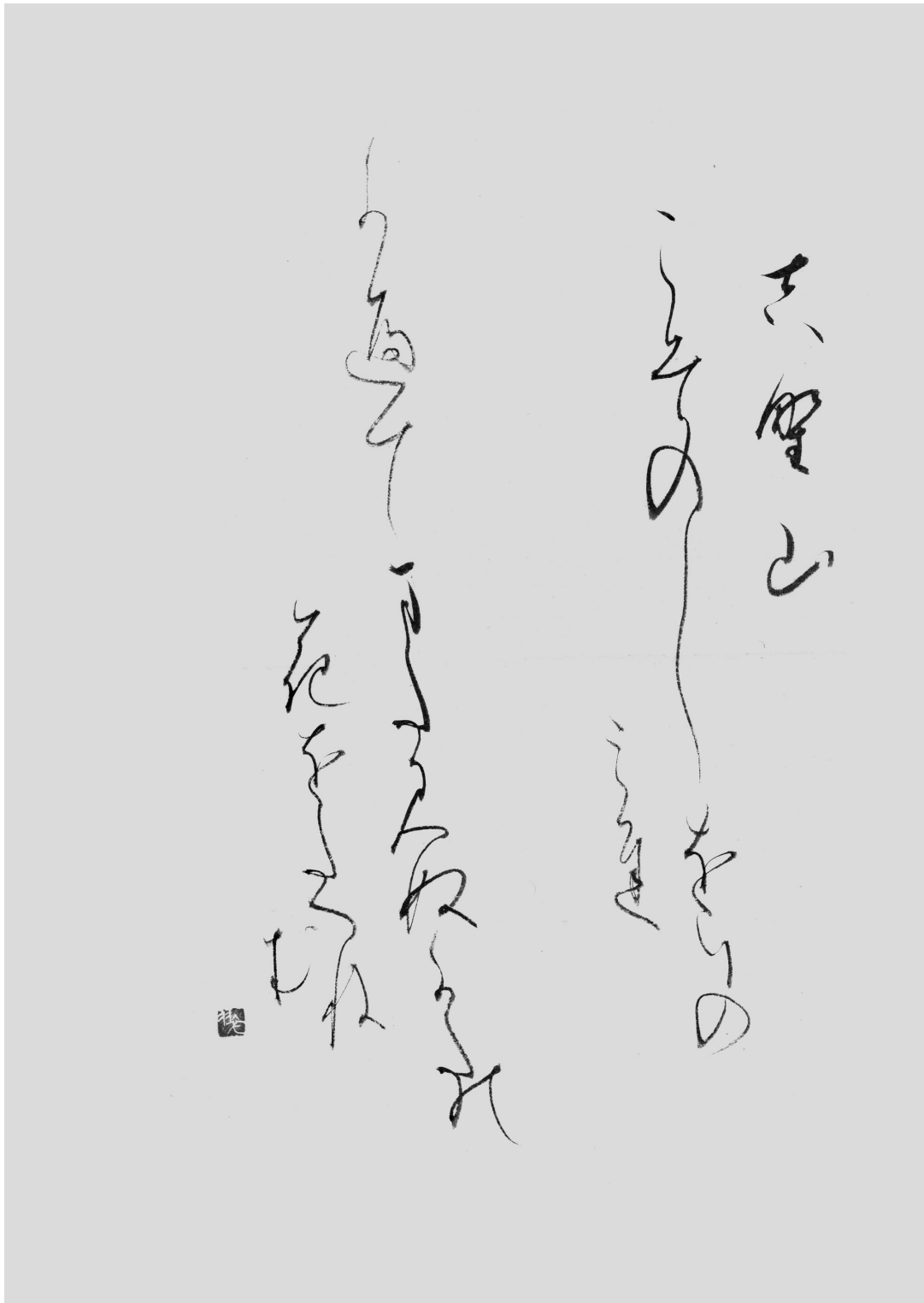
小学三年

た	み
ち	ど
が	り
走	の
り	草
ま	原
わ	を
る	馬

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



松永翠舟先生書

吉野山こそこのしをりの  
 みちかへて  
 三遅可遍  
 またみぬかたの  
 万多見可多能  
 花をたつねむ  
 多  
 (西行)